

ごあいさつ

東急田園都市線青葉台駅の南方約1.5kmの恩田川を望む、標高38mを測る市立さつきが丘小学校のある低位台地上一帯の約50000㎡は稲ヶ原遺跡と呼ばれ、現在は街路によってAからDの4つの地点に区分されています。このうち北西部にあたるA地点は、小学校の建設にともなって平成2年6月から翌年の3月にかけて、横浜埋蔵文化財センターが約8000㎡の範囲を発掘調査しました。

調査によって、狩りや木の実を採って生活していた縄文時代早期～後期（約9000年～4000年前）の竪穴住居跡23軒、落とし穴や貯蔵穴67基、炉穴14基、集石・配石14基、米作りが始まり身分の差が強まりはじめた弥生時代末～古墳時代前期（約1700年～1600年前）には竪穴住居跡44軒、方形周溝墓と呼ばれる墓1基、古墳時代終り頃（約1350年前）の竪穴住居跡1軒などの遺構や、各時代の土器、縄文時代の石斧・石鏃・磨石・石錘などの各種の石器が数多く発見されました。

このように各時代の遺構が多数発見された本遺跡は、恩田川流域において大規模な集落跡の一つと考えられ、調査の成果は高く評価されています。

発掘調査の実施にあたっては、地域の方々に多大なご協力を頂いたことを感謝し、ここに発掘成果の一端を出土品と写真パネルなどでご紹介いたします。

平成5年3月 横浜市教育委員会
(どきどきルーム開設時のもの)



どきどきルームのご案内

住所：横浜市青葉区さつきが丘8番地
横浜市立さつきが丘小学校内

電話：045-974-1091

※平日の開校時間にさつきが丘小学校にお訪ねください。

交通：JR横浜線十日市場駅から徒歩約10分
東急田園都市線青葉台駅から徒歩約15分
発行：横浜市立さつきが丘小学校

<協力>

- 写真は「公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター」より提供。
- さつきが丘小学校ボランティア「郷土史の会」

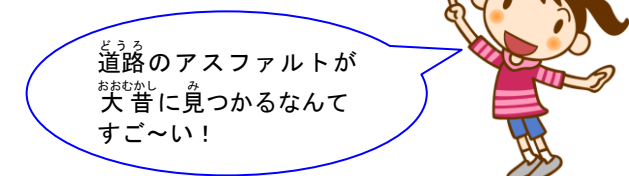
横浜市立さつきが丘小学校



このかたまりは、天然のアスファルトなんだよ！
土器の接着剤として使っていたんだ！



関東地方では大発見！



道路のアスファルトが大昔に見つかるなんてすごーい！

稲ヶ原遺跡郷土資料室

発行：平成23年12月



敷石住居・柄鏡型住居跡
（縄文時代中期末）



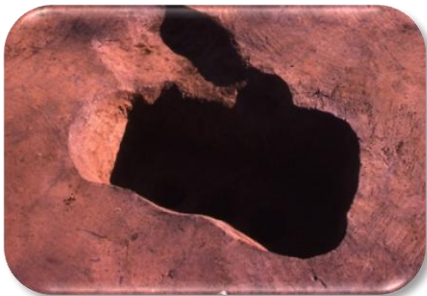
住居跡（縄文時代中期・加曾利E式）



石棒（住居跡遺物出土状態・縄文時代）



住居跡（縄文時代早期・撚糸文期）



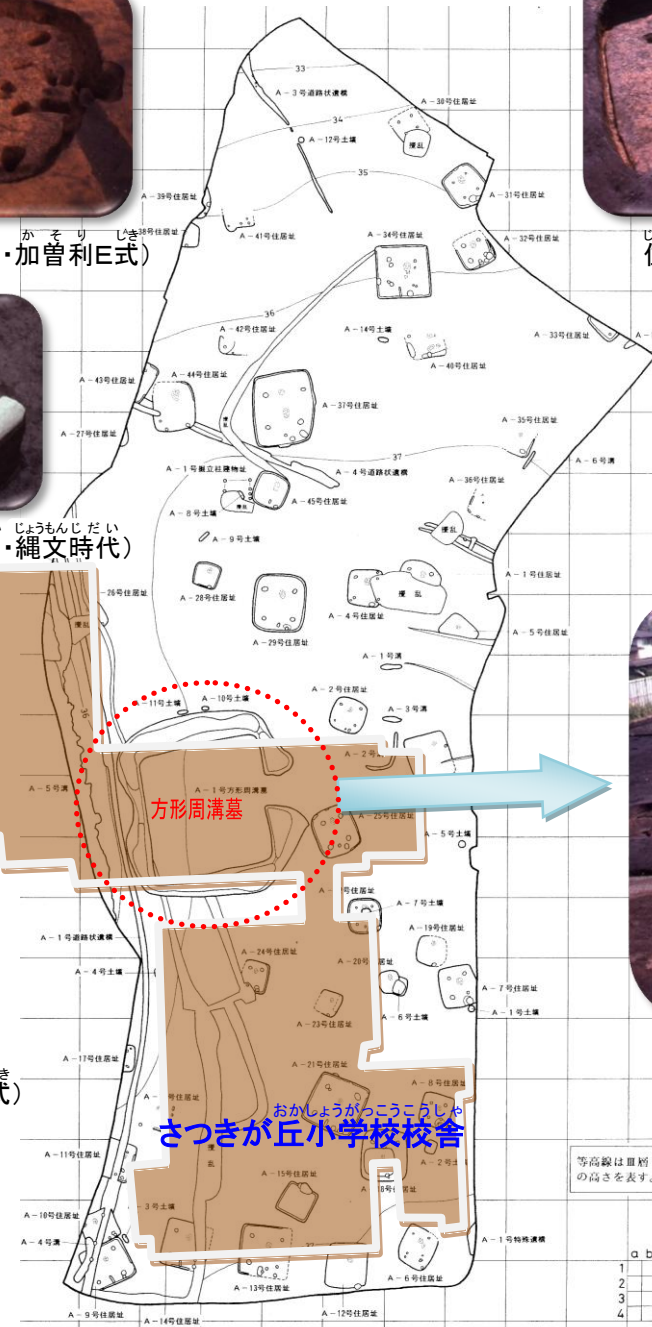
土壇（縄文時代早期・落とし穴）



縄文式土器出土状態
（縄文時代中期末・加曾利E式）



縄文式土器出土状態
（縄文時代後期・称名寺式）



弥生時代終末期～古墳時代初頭の遺構分布図
（3～4世紀）



住居跡（弥生時代後期）



住居跡（弥生時代後期）



住居跡（古墳時代前期）



方形周溝墓（古墳時代前期）
関東地方で最大級の方形周溝墓



調査区南側縄文時代の遺構群（北より）